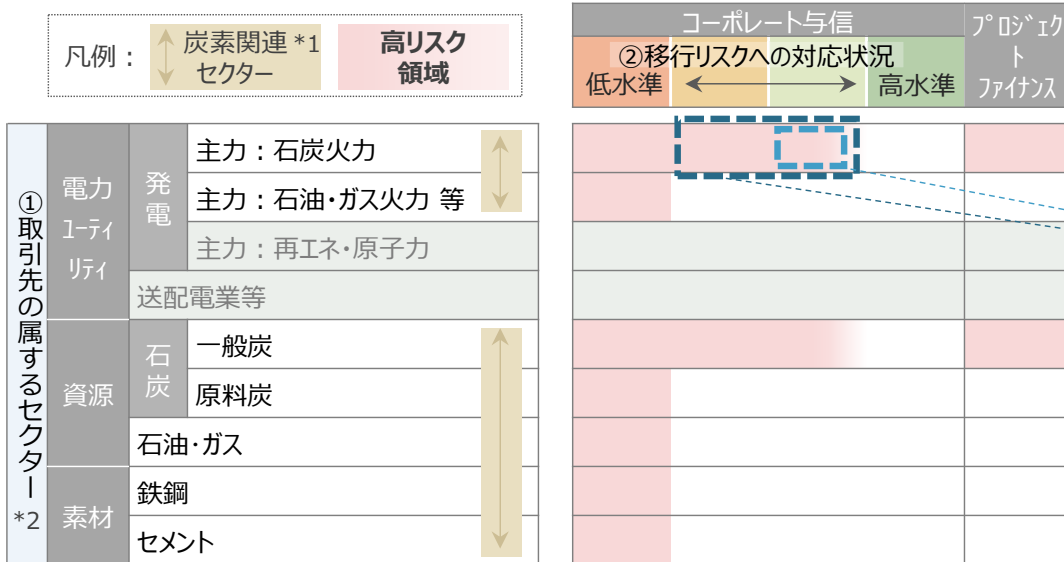


2.炭素関連セクターの高リスク領域におけるグリーンな事業への支援体制の整備

炭素関連セクターにおけるリスク評価

- 〈みずほ〉では、炭素関連セクター*1 におけるリスクコントロールとして、①お客さまの属するセクター*2、および②お客さまの移行リスクへの対応状況の2軸でリスクを評価し、高リスク領域を特定しモニタリングする態勢を構築しています。

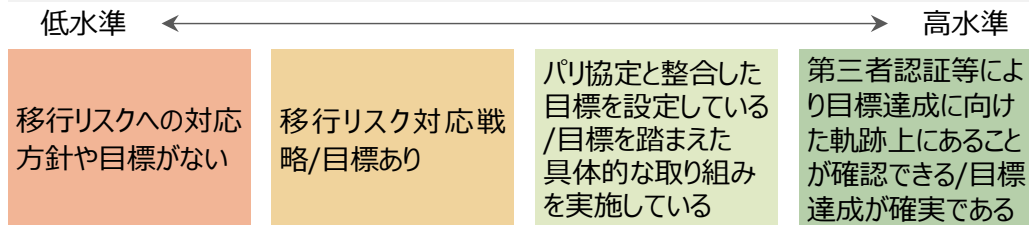
リスク評価マッピング



*1 炭素関連セクター：〈みずほ〉の定性評価により移行リスクが高いと認識したセクター

*2 セクター：企業の事業構成において、売上/電源構成が最も高いものに依り分類

② 移行リスクへの対応状況



2軸による移行に向けた支援

軸	①セクター軸（縦軸）	②対応状況軸（横軸）
移行に向けた支援	より低リスクな領域・セクターへの事業構造転換を支援	お客さまの移行リスク対応促進を支援

高リスク領域への対応方針

- 移行リスクへの有効な対応戦略の策定、または、より低リスクのセクターへの事業構造転換が、速やかに図られるようサポートするなど、より一層のエンゲージメントに取り組みます。
- お客さまの事業構造転換を後押しすべく、**トランジション支援の枠組み**において国際的なスタンダードが提唱する要件の充足等が確認できた場合には、高リスク領域においても、より積極的な支援を行います。
- 初回のエンゲージメントから1年を経過しても、移行リスクへの対応意思がなく、移行戦略も策定されない場合には、取引継続について慎重に判断します。
- これらを通じてリスクコントロールを強化し、中長期的に高リスク領域のエクスポージャーを削減していきます。

トランジション支援の枠組み

高リスク領域におけるお客さまの事業構造転換等への取り組みをよりサポートするための枠組み

- 1 移行戦略の信頼性や透明性が確認できるお客さまへの支援
- 2 再エネ等のグリーンな事業であることが確認できる案件への支援

今次明確化

☞ 確認目線等の詳細は次ページご参照

トランジション支援の枠組み **1** の対象

トランジション支援の枠組み **2** の対象 *3

*3 高リスク領域以外の一部の領域も対象

2.炭素関連セクターの高リスク領域におけるグリーンな事業への支援体制の整備

トランジション支援の枠組み

- 高リスク領域におけるお客さまの事業構造転換等を後押しする本枠組みにおいて、従来、(1)移行戦略の信頼性や透明性が確認できるお客さまへの支援を対象としていましたが、(2)再エネ等のグリーンな事業であることが確認できる案件も、この枠組みの対象としてより積極的に支援を行うことを明確化しました。
- 一時的には「高リスク領域」のエクスポージャーが増加する可能性があります。お客さまの移行戦略の立案や遂行を後押しすることで、移行リスクを適切に管理し、中長期的な移行リスクを低減させていきます。

今次明確化

1 移行戦略の信頼性や透明性が確認できるお客さまへの支援

確認目線

国際資本市場協会(ICMA)の「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」で推奨される開示要素等を参考に定めた以下の目線を確認します。

戦略及び
マテリアリティ

移行戦略（移行に資する事業戦略）として必要な要素を満たしている

ガバナンス体制

戦略・目標設定に関する適切なガバナンス体制がある

科学的根拠

パリ協定と整合した科学的根拠のある目標がある

開示状況

戦略・目標の透明性に問題がなく、目標に向けた進捗がある

脱炭素技術の開発・
導入見通し

戦略に基づく技術の導入及びキャッシュフローの見通しがある

2 再エネ等のグリーンな事業であることが確認できる案件への支援

確認目線

ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)等が策定した「グリーンローン原則」で推奨される要素を参考に定めた以下の目線を確認します。

調達資金の用途

調達資金がグリーンプロジェクトに使われる

プロジェクトの評価
及び選定のプロセス

環境面での目標、適格なプロジェクトを判断するプロセスがある

調達資金の管理

調達資金が適切な方法により追跡される

レポート

資金用途や充当状況について透明性が確保されている

お客さまの
取り組み姿勢

移行リスクへの対応の進展、またはより低リスクなセクターへの事業構造転換に向けた意思がある